

**令和元年度進行管理・評価シート**  
**宇治市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）**  
（最終変更 平成31年3月25日）

**進捗評価シート(様式1)**

組織体制(様式1 - 1)	
1 宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	1
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1 - 2)	
1 景観形成助成制度の啓発	2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1 - 3)	
1 史跡整備事業	3
2 情報発信・観光交流施設整備事業	4
3 重要文化的景観保存事業	5
4 歩道整備事業	6
5 歩行空間整備事業	7
6 無電柱化事業	8
7 観光施設周辺浸水対策事業	9
8 観光サイン等整備事業	10
9 建物修景助成事業	11
10 屋外広告物助成事業	12
11 宇治茶園支援事業	13
12 宇治茶品質向上事業	14
13 宇治茶普及啓発事業	15
14 市営茶室対鳳庵活用事業	16
15 宇治川鵜飼助成事業	17
16 宇治十帖スタンプラリー開催	18
17 京都・宇治灯り絵巻の開催	19
18 文化財見学会	20
19 歴史・文化啓発事業	21
20 文化的景観整備計画策定調査	22
21 観光交通対策検討調査	23
22 空き町家の活用検討調査	24
23 観光周遊道路の整備検討調査	25
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1 - 4)	
1 文化財の修理(整備を含む)	26
2 文化財の防災	27
3 文化財の保全及び活用の普及・啓発	28
4 埋蔵文化財の取扱い	29
5 文化財の保存・活用に関わる 住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備	30
効果・影響等に関する報道(様式1 - 5)	
1 馳せ馬 雨吹き飛ばす 災厄封じ宇治川へ	31
2 文化財の現場から 歴史散歩 地域勢力の変化語る巨大墳	32
3 所有者の思い応え修繕 日本最古の旧茶工場	33
4 歴史公園ミュージアム 茶、宇治の歴史知り街中へ	34

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催	実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 計画の進捗管理や計画の変更・追加について、関係課から庁内意見を調整し、「宇治市歴史的風致維持向上協議会」に意見を伺うこととする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

学識経験者、文化財所有者、各種関係団体及び行政関係者により構成される宇治市歴史的風致維持向上協議会を開催し、計画の進行管理・評価などについて、意見を聞くことができた。

[定量的評価]

宇治市歴史的風致維持向上協議会の開催回数 : 1回

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

実施期間	種別	検討事項等
平成 31 年 4 月 19 日	第 1 回 歴史的風致維持向上協議会	<p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歴史的風致維持向上計画の平成 3 0 年度の進捗評価について</li> <li>2. 歴史的風致維持向上計画の中間評価について</li> <li>3. 歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</li> <li>4. 報告                         <ul style="list-style-type: none"> <li>①(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業</li> <li>②観光サイン等整備事業</li> <li>③名勝「宇治山」及び史跡「宇治古墳群」の指定等について</li> <li>④景観重要建造物の指定について</li> <li>⑤宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり</li> </ul> </li> </ol>



宇治市歴史的風致維持向上協議会開催の様子 (平成31年4月19日)

評価軸 -1  
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
景観形成助成制度の啓発	現在の状況	実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 「宇治市景観計画」においては、「悠久の歴史と自然を今に活かしふるさと宇治を誇り伝えん」とした基本理念のもと、市内全域を景観計画区域とし、8つに区分されたそれぞれの区域ごとに景観形成誘導指針及び屋外広告物に関する行為の制限を示している。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する建築物や屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしている。景観重要公共施設の沿道の助成対象区域において「景観形成助成制度のご案内」のパンフレットにより、制度の周知をすすめた。また、屋外広告物助成事業については、市の広報紙「市政だより」による周知も行った。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

**屋外広告物を改善し、まちなみを演出しませんか?**

屋外広告物について、デザイン、色彩、材料などを周囲に調和するよう調整して、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成をします。

《対象工事》屋外広告物の設置、除却等に係る工事費などで、著しく景観に寄与するもの(ただし、年度内に完了し、年度内に検査を受けられるものに限る)

《対象区域》景観計画重点区域

《交付額》工事費の2分の1以下(限度額50万円)

《補助件数》予算額の上限に達するまで(先着順)

【5月15日(水)・12月13日(金)延長の要あり】に、歴史まちづくり推進課へ。

**景観形成助成制度のご案内**

宇治市では、平成20年4月に景観計画を策定し、市内全域を対象に計画で定める景観づくりをすすめています。

このたび、「景観計画重点区域」内において、建築物や門・壁などのデザイン、色、材料などを周囲に調和するよう調整して、地域のまちなみをより良くする工事を対象に助成を開始します。

**宇治市**

市政だよりによる記事

**建築物の新築・改修工事**

宇治市では、建築物の新築・改修は、その外観が景観に大きく影響を及ぼすものとして、景観計画に基づき、景観に調和したデザインを推奨しています。

**景観重要建造物の修繕・改良工事**

まちなみの景観形成に、特に重要な役割を果たしている建築物は、景観形成に寄与するものとして、景観計画に基づき、景観に調和したデザインを推奨しています。

**屋外広告物の除却・新設工事**

まちなみの景観形成には、建築物のデザインだけでなく、屋外広告物のデザインも重要な役割を果たしています。景観に調和したデザインを推奨しています。

**工作物の新設・改修工事**

美しい景観、まちなみを演出するには、建築物だけでなく、景観に調和した工作物(門・壁・塀・生垣など)も重要な役割を果たしています。景観に調和したデザインを推奨しています。

**その他**

景観形成に貢献する工事に係る助成。

**設備部品の取組・取組**

景観形成に貢献する工事に係る助成。

『景観形成助成制度のご案内』のパンフレット

評価軸 -1  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
史跡整備事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 壮大な築堤状況が体感できる空間整備と茶園景観の修景とを一体的に行い、多くの市民や来訪者に本市の歴史・文化の総合的理解を促す。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

史跡整備事業は、機能時と埋没時の宇治川太閤堤を再現し、太閤堤の果たした役割と歴史の重層性を表現することとしている。

Aゾーンは機能時の太閤堤の護岸施設と宇治川を再現する。遺構再現では、太閤堤の石張り部をGRCパネル、石積み部を遺構と同種の石と杭で再現する。令和元年度は植栽、舗装、ベンチ等の設置及び整備等をおこなった。

Bゾーンは砂に埋もれた太閤堤の護岸施設と、砂州で営まれた茶園景観を復元整備する。令和元年度は、造成園路の整備、排水の設置を行った。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



Aゾーンの整備の様子  
(令和2年3月)



Bゾーンの整備の様子  
(令和元年10月)

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

情報発信・観光交流施設整備事業	実施済 実施中 未着手
-----------------	-------------------

事業期間	平成27年度～令和2年度
------	--------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	-------------------------

計画に記載している内容	史跡宇治川太閤堤跡の隣接地において、市民と来訪者が利用できる、宇治の歴史や文化を情報発信する施設の整備を行う。当該事業により、宇治橋周辺地域の散策ルートの起点となる場所が確保され、来訪者の目的に応じたまちなか散策を円滑に誘導すると同時に、宇治の歴史や文化を総合的かつ分かりやすく伝えることができる。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

PFI方式で実施している歴史公園整備では設計業務が完了し、令和元年10月より建設業務に着手した。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
---------------	--------------------------

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	令和2年度の計画の達成に向けて事業者と協議・調整を図っていく。
-----------------------------	---------------------------------

状況を示す写真や資料等



(令和元年12月)



(令和2年2月)



(令和2年3月)



(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備イメージ

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重要文化的景観保存事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 文化的景観保護推進事業国庫補助

計画に記載している内容 重要構成要素の修理事業を実施し、積極的な活用を図ることにより、賑わいのある沿道景観の魅力向上や伝統的な茶業の継承に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

重要文化的景観「宇治の文化的景観」の景観重要構成要素である中村藤吉本店の建物修理への補助を行った。

[定量的評価]

景観重要構成要素の届出建物修理修景事業の実施件数: 1件

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



中村藤吉本店修理前 (令和元年6月)



修理後 (令和2年2月)

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歩道整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成21年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(道路事業)		
計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源を結ぶ道路であり、歩道を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できる快適な歩行空間を確保でき、宇治川周辺の回遊性の向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、市道菟道志津川線の門前工区で道路拡幅事業用地の取得に取り組み、一部用地では建物等の移転除却が進められた。また、谷下り工区ではJR奈良線大鳳寺踏切の拡幅整備に向けた協議を進めた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している			
計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

市道菟道志津川線(門前工区)



(平成31年10月)



(令和2年3月)

市道菟道志津川線(谷下り工区)



(令和2年3月)

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

歩行空間整備事業	実施済 実施中 未着手
----------	-------------------

事業期間	平成24年度～令和2年度
------	--------------

支援事業名	平成24年度～平成28年度：市単独事業 平成27年度～令和2年度：社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	---

計画に記載している内容	史跡公園と宇治川周辺の歴史・文化資源や白川集落を結ぶ道路に歩行空間を整備することで、来訪者が歴史に触れながら安心して散策できるようになり、回遊性の向上につながる。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

菟道94号線は、沿道の町内会、水路管理者等との協議・調整を行い、整備範囲等を決定した。宇治12号線ほかは、隣接する宇治川を管理する河川管理者、JR奈良線複線化事業の事業者等と協議・調整を行った。また、令和2年度末の完成に向けて、周辺事業との工程調整を行った。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	----------	--------------------------

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	宇治12号線沿道において、用地買収が完了していない土地が1件残っている。
-----------------------------	--------------------------------------

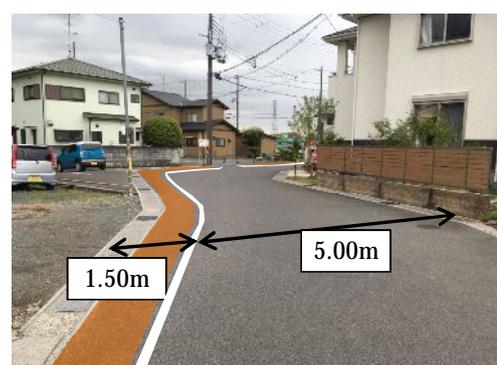
状況を示す写真や資料等

市道菟道94号線

整備前 (令和2年3月)



整備後イメージ



評価軸 -6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

無電柱化事業	現在の状況	実施済 実施中 未着手
--------	-------	-------------------

事業期間	～ 令和2年度
------	---------

支援事業名	地域自主戦略交付金 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
-------	--------------------------------------

計画に記載している内容	道路の無電柱化を行い道路景観の改善を行うことにより、沿道の歴史的建造物や巡行する伝統的祭礼との調和が図られるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で	
令和元年度は、宇治川周辺の回遊性につながる散策路の1つである市道宇治228号線の無電柱化の詳細設計に取り組み、河川管理者や電線事業者等関係機関と協議を進めた。	

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

【位置図】



【整備前】(平成30年1月)



【整備後イメージ】



無電柱化に取り組むことで伝統的な沿道景観との調和や道路景観の改善を図る。

項目

観光施設周辺浸水対策事業

実施済  
実施中  
未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史・文化資源や歴史的まちなみの回遊性を確保するとともに、宇治川河畔の参詣や遊覧など歴史的伝統を継承する諸活動が行われている良好な市街地の環境を守る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

砂に埋もれた太閤堤護岸施設と砂州で営まれた茶園景観復元において、園路の整備や給排水設置を行った。浸透柵工事・暗渠排水工事等により、雨水排水流出を抑え、排水・水はけ問題の改善に導く。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



(令和元年8月)

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

**観光サイン等整備事業**

実施済  
実施中  
未着手

事業期間 平成29年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 宇治市観光振興計画に基づき、国内外からの観光客が歴史・文化資源や歴史的まちなみ等を回遊しやすい環境を整備するため、観光サインや観光トイレの再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市観光案内サイン整備ガイドラインに基づき、JR宇治駅前に新設1基、撤去5基の対応を行った。宇治神社前トイレの改修工事(洋式化、バリアフリー化等)を行った。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	補助事業に基づく財政措置を行っており、国・府補助金の動向により整備の進捗に影響がある。

状況を示す写真や資料等

観光案内サインの新設(令和2年3月)



観光トイレの改修(令和2年3月)



	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
建物修景助成事業	実施済 実施中 未着手

事業期間	平成22年度～
支援事業名	市単独事業、社会資本整備総合交付金

計画に記載している内容	歴史ある沿道景観の保全と形成を促進し、賑わいと風情あるまちづくりが推進される。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

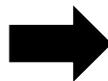
本市は、特に景観に配慮すべき宇治市景観計画重点区域内の景観重要公共施設(道路)の一部沿道において、良好な景観の形成に著しく寄与すると認められる建築物、工作物、その他(設計費等)について、助成を行うこととしており、令和元年度の申請は1件である。

【定量的評価】

景観形成助成の件数 : 申請件数 1件  
 (参考)30年度 : 申請件数 2件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



修景前(平成29年10月)

修景後(令和2年1月)

評価軸 -10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
屋外広告物助成事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間	平成22年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	景観阻害要因の減少とともに、歴史的な町並みと調和した賑わいと風情あるまちづくりが推進される。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本市は、宇治市景観計画重点区域内において、良好な景観の形成に著しく寄与する屋外広告物の整備に対して助成を行うこととしているが、令和元年度の申請は0件であった。

[定量的評価]

景観形成助成の件数 : 申請件数 0件  
(参考)30年度 : 申請件数 1件

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



(参考)平成30年度の景観助成で整備された箇所

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況

宇治茶園支援事業

実施済  
実施中  
未着手

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 減少傾向にある宇治市域の茶園の維持・拡大を進めることや、伝統的栽培方法を推奨することで、生産者の経済的負担軽減と活動意欲を支える。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行い、宇治独特の茶園景観の形成に寄与した。

【定量的評価】

伝統技術継承対策事業の実施件数 : 15件(282.5a)

「ほんず」による生産は非常に手間暇がかかり、生産省力化である寒冷紗による生産に移行する状況の中、実施件数は平成28年度18件(323.9a)、平成29年度19件(320.9a)、平成30年度17件(309.7a)と推移している。本事業による実施面積は、年度ごとの申請内容により増減があるものの、実施件数は近年横ばいで推移しており、ほんず栽培の保存や技術継承に効果を発揮していると評価できる。

手摘み茶推進対策の実施件数 : 31件

手摘みを継続していくためには摘み子の確保が必須であるが、年々確保するのが厳しい状況であり、平成27年度から平成30年までは実施件数が32件で推移している。手摘みを継承していきたい茶業者の支えとなっており、手摘み茶の推進の効果を発揮していると評価できる。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況



手摘み茶推進対策事業により実施された「お茶摘みさん」を募集するチラシ

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

宇治茶品質向上事業	実施済 実施中 未着手
-----------	-------------------

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容	品質向上への意欲増進や栽培・生産技術の向上が図られる。また担い手育成に取り組むことにより、生業の維持が図られる。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

6月13日に宇治市で開催した宇治市茶品評会、8月6日から京都府で開催された関西茶品評会、8月27日から愛知県で開催された全国茶品評会(式典は11月16日に開催)への出品の支援を実施した。  
茶品評会への出品を推奨することで、生産者の生産意欲を高めるとともに宇治茶の伝統的製法の継承につながった。

[定量的評価]  
茶品評会出品数/入賞数 : 121点/55点受賞

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



全国茶品評会  
(令和元年11月16日)



宇治市茶品評会  
(令和元年6月13日)

品評会の実施状況

	第73回全国茶品評会	第72回関西茶品評会	第52回宇治市茶品評会
出品数	42	45	34
優等数			2
1等賞	4	2	3
2等賞	7	11	3
3等賞	9	10	4
農林水産大臣賞	なし	なし	
産地賞	受賞	なし	

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
宇治茶普及啓発事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成23年度 ~		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者が宇治茶に親しみ、宇治茶を理解することは、お茶のまち宇治の歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
5月12日開催した市民茶摘みのつどいや10月6日に宇治川河畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。			
【定量的評価】			
「市民茶摘みのつどい」の参加者数： 約200人			
平成29年度には約500人の参加があった(平成30年度は雨天中止)ものの、令和元年度は同じくお茶摘みを体験できる八十八夜茶摘みの集いが5月2日の祝日に開催されたため、参加者数は伸びなかったが、市民に広く浸透している事業であり、茶摘みという体験を通して、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるものと評価できる。			
「宇治茶まつり」の参加者数： 約41,500人 (宇治茶まつり消費イベントと併催)			
各年度ごとに、複数の事業を同時開催しているもので、年度ごとの比較はできないが、令和元年度においても約41,500人の参加があり、市民や来訪者への宇治茶の普及啓発に効果があるものと評価できる。			
「市民素人茶香服大会」の参加者数： 約60人			
平成27年度約100人、平成28年度及び29年度は約80人、平成30年度及び令和元年度は約60人の参加があり、宇治茶への親しみや理解を深める効果があるとともに、茶香服という独自文化を認識させる効果があるものと評価できる。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
		市民素人茶香服大会の開催状況 (令和元年10月6日)	
		宇治茶まつりの開催状況 (平成30年10月6日)	

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
市営茶室対鳳庵活用事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 茶文化を体験できる機会を提供することは、市民や来訪者に宇治茶の品質や、茶業全般への関心や理解を促すことにつながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

本格的数奇屋建築の市営茶室「対鳳庵」において、表千家・裏千家・山荘流の3流派による抹茶や、小川流、二条流、瑞芳庵流、方円流の4流派による煎茶の本格的なお点前の実施により、茶文化の体験できる機会の創出とお茶への関心や理解を促す場を提供することができた。  
 なお、平成26年4月より従来の抹茶の薄茶、煎茶のみのメニューから濃茶と薄茶、玉露と煎茶のセットメニュー及びお点前体験のメニューを追加することにより、利用者の増加や満足度を高める取り組みを行っている。

【定量的評価】

市営茶室でお茶席の利用者数 : 18,782人  
 (参考)30年度 : 23,554人

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



茶の湯の用意ができていることを知らせる“在釜”の札をかかげる市営茶室対鳳庵の露地門



本席(三畳向切)において抹茶点前で喫茶の様子

対鳳庵 入席者数

	入席者数	うち外国人
H24年度	16,302人	4,889人
H25年度	14,259人	4,259人
H26年度	22,335人	6,059人
H27年度	21,632人	7,198人
H28年度	21,329人	8,442人
H29年度	24,800人	11,803人
H30年度	23,354人	11,858人
R1年度	18,782人	10,917人

対鳳庵 新メニュー実績

	濃・薄セット	玉露	玉・煎セット	お点前体験
H26年度	248人	2人	2人	345人
H27年度	118人	20人	5人	885人
H28年度	181人	9人	6人	913人
H29年度	134人	9人	0人	1,026人
H30年度	106人	22人	27人	954人
R1年度	143人	23人	7人	1,191人

令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月は休席となった。

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
宇治川鵜飼助成事業		実施済 実施中 未着手	

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 平安貴族の宇治川見物のひとつであった宇治川の鵜飼は、鎌倉時代に禁止されたのち、昭和初年に復活し、以降宇治川の夏の風物詩として定着している。多くの来訪者を楽しませる鵜飼を継承する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

鵜飼事業の実施に支援し、7月1日(日)から9月30日(日)までの出船期間中に乗り合い船、ツアー団体、貸しきり船などで約2,635人の乗船があったが、宇治川の改修に伴い川の水量が増加する日が多く営業日数が大幅に減り開催期間のおよそ半分の営業になった。一方で、放ち鵜飼プロジェクトについてクラウドファンディングで支援を募り、一部の支援者を対象に特別内覧会を実施するなど放ち鵜飼実施に向けて積極的に活動し、宇治川での伝統行事として歴史的風致の維持向上に寄与した。

【定量的評価】

鵜飼船乗船者数:約2,635人(増水・台風のため53日間の臨時休業があり、39日間の営業実施であった。)  
(参考)30年度 :約4,325人(増水・台風のため43日間の臨時休業があり、49日間の営業実施であった。)

うみうのウツィー 孵化・成長

平成26年...1羽 平成27年...2羽 平成28年...2羽 平成29年...4羽 平成30年...0羽 令和元年...2羽

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		今後、さらなる集客に向けて放ち鵜飼の検討を行っている。

状況を示す写真や資料等



鵜飼の様子



鵜のヒナ



	営業期間			期間日数 (日)	休業日数 (日)	営業日数 (日)	乗船人数 (人)	(内乗合人数)	1日平均 (人)
H25年度	6月15日	~	9月23日	101	18	83	6,700	4,700	80
H26年度	6月15日	~	9月21日	99	23	76	6,970	4,520	91
H27年度	6月14日	~	9月23日	102	40	62	7,060	3,670	114
H28年度	7月1日	~	9月30日	92	13	79	6,920	3,570	88
H29年度	7月1日	~	9月30日	92	17	75	6,390	3,470	86
H30年度	7月1日	~	9月30日	92	43	49	4,325	1,965	89
R 1年度	7月1日	~	9月30日	92	53	39	2,635	1,670	68

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
宇治十帖スタンプラリー開催	実施済 実施中 未着手

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 近世から親しまれる宇治の遊覧の1つ「源氏物語宇治十帖めぐり」を定期的に設けることにより、多くの人に宇治川河畔の歴史的風致に触れる機会が創出される

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

晩秋の宇治の風情を楽しみながら源氏物語宇治十帖ゆかりの地などを巡るスタンプラリーを4日間(10月26・27日、11月2・3日)開催し、宇治の歴史的風致に触れる機会が創出された。  
 昨年同様、宇治市宣伝大使「ちはや姫」とご当地キャラクター「チャチャ王国のおうじちゃま」が参加するゆるきゃら(R)ポイントを設け事業を盛り上げた。  
 [定量的評価]  
 スタンプラリー参加者数:12,008人

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している	
計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



第29回スタンプ帳



当日の様子

	開催日数	参加者人数
H25年度	5	16,598人
H26年度	5	17,176人
H27年度	5	17,744人
H28年度	5	17,503人
H29年度	5(内1日中止)	12,674人
H30年度	4	13,146人
R1年度	4	12,008人

宇治十帖スタンプラリー参加者

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
京都・宇治灯り絵巻の開催		実施済 実施中 未着手	

事業期間 平成23年度 ~

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 かつては宇治川の蛍狩りが夏の夜の風物詩として、多くの来訪者で賑わいを見せた。現在宇治川で蛍を見ることはできないが、夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような賑わいの創出につながる。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治川の鶴飼、植物公園の蛍ナイター、三室戸寺のライトアップや宇治市観光協会の会員13店舗等による行燈の掲出・点灯を継続して実施し、計画に記載している「夜に宇治川河畔を散策する機会を設けることで、かつてのような夜の賑わいの創出につながる。」という一定の効果が発現した。また、今年度より京都府と連携し、「京都・花灯路」のコンセプトと源氏物語宇治十帖をテーマにした「宇治灯り絵巻灯籠」を融合し、宇治の街並みに似合う宇治情緒豊かな陰影のある灯りの路を連結する事業を企画し、実施することとした。3月に予定していた今年度のイベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期となった。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

次年度以降も継続し、イベント等に合わせた灯りの演出と、京都府と連携した「京都・花灯路」連携周遊事業にも引き続き取り組む。

状況を示す写真や資料等



京都・宇治灯り絵巻のイメージ写真

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財見学会	実施済 実施中 未着手

事業期間	平成23年度 ~
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 小学生を対象にした文化財の普及・啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながるため、次世代へと引き継ぐべき歴史的風致の維持向上に寄与するものである。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・春の庵寺山古墳の一般公開	令和元年 5月25日(土)	10:00~15:00	約80人
・秋の庵寺山古墳の一般公開	令和元年10月25日(土)	10:00~15:00	約50人
・第28回小中学生の文化財見学会	令和元年12月7日(土)	9:30~12:00	50人

今回の見学会は、重要文化財松殿山荘の見学をした。文化財見学会終了後の感想文コンクールでは5本の作文が寄せられた。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している	
計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



庵寺山一般公開 (令和元年5月25日)



文化財見学会 (令和元年12月7日)

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
歴史・文化啓発事業	実施済 実施中 未着手

事業期間	平成23年度 ~
------	----------

支援事業名	文化的景観保護推進事業国庫補助、市単独事業
-------	-----------------------

計画に記載している内容	多くの市民を対象にした歴史・文化の啓発活動は、郷土の歴史と身近な文化財への理解を促すとともに、ふるさと宇治に愛着と誇りを持ち、地域の伝統文化の継承への意識を高めることにもつながる。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

「宇治学」(総合的な学習の時間)での探究的・協働的学習をより効果的に実施するため、「宇治学」副読本・指導の手引きを作成配付

【定量的評価】

7学年(小学校3年~中学校3年)分の「宇治学」副読本が揃い、全学年での活用スタート

活用充実のための「公開授業講座(第5学年)」の実施

「宇治学」副読本(第6学年)の改訂版を市内小学校22校に配付

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	----------	--------------------------

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



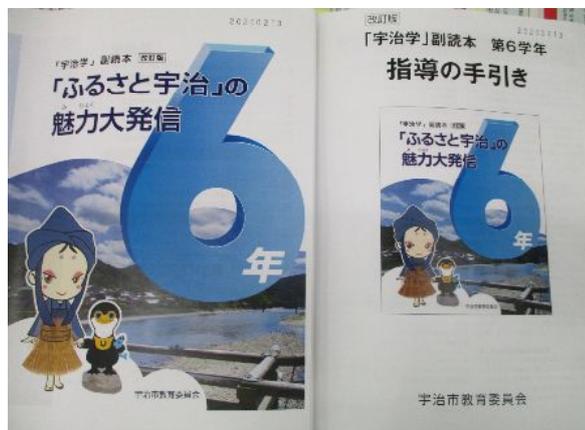
市役所インタビュー(令和元年12月5日)



企画提案書プレゼン(令和元年12月15日)



公開授業講座(令和2年2月18日)



改訂版副読本の発刊(令和2年3月)

項目	評価対象年度	令和元年度
文化的景観整備計画策定調査		現在の状況 実施済 実施中 未着手

事業期間 ~ 令和3年度

支援事業名 文化的景観保護推進事業国庫補助

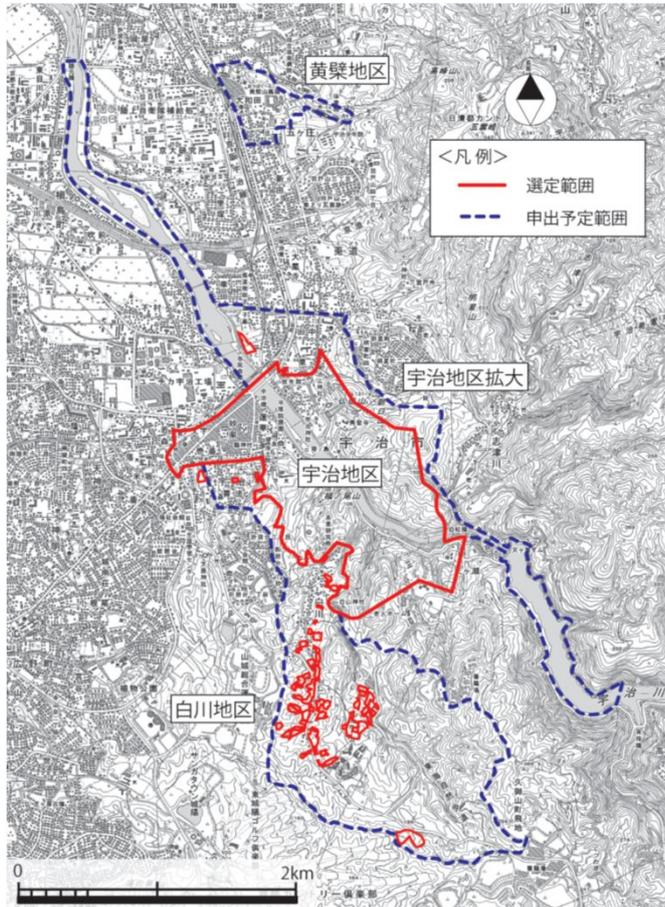
計画に記載している内容 地域の自然・歴史・社会的文脈を保全しつつ、次世代のまちづくりを考える文化的景観の保護の取組は、歴史的風致の維持向上と密接に関わるものであり、整備計画において、重要構成要素に特定された物件を対象に、所有者等の協力を得て宇治地区の街区構造の継承や茶業関係の家屋の修景など整備活用の具体的検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

景観重要構成要素の建物に、清水家住宅、寺川家土蔵、御菓子司能登掾稲房安兼、茶房あじろの計4件の追加申出をした。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	重要構成要素の拡大については、世代交代により建物を維持していくことに関して見通すことができないという所有者も多く、特に民家の保存についての問題が浮かび上がったが、要望している所有者もあることから、順次要望しているところから拡大していく。

状況を示す写真や資料等



重要構成要素追加建物



寺川家土蔵 (平成28年12月)



茶房あじろ (平成28年7月)

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
観光交通対策検討調査		実施済 実施中 未着手	

事業期間	平成25年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容  
 観光シーズンになると自家用車が重点区域に集中し、来訪者で賑わう狭隘な道路での安全性の確保や、近年増加している自転車の来訪者への対策が講じられておらず、宇治の風情を損なうことがある。このような交通問題対策として、来訪時と来訪中の移動について総合的に対策を検討し、計画に基づき、様々な事業をパッケージ的に実施することにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

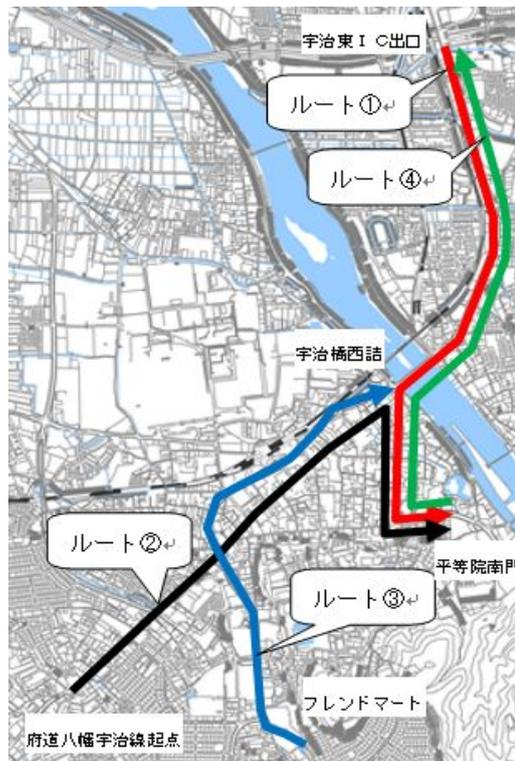
[令和元年度]  
 平成27年度から実施している周辺駐車場の情報発信や現地での誘導等による効果を確認するため、ゴールデンウィークにおける車での旅行時間の調査を実施した。  
 旅行時間について過年度と比較すると、平等院南門方面へ向かうルート(ルート①、②)と宇治橋西詰に向かうルート(ルート③)では、昨年より若干であるが短縮ができ、平等院南門から帰るルート(ルート④)では、昨年より若干であるが延長が確認でき、県通り周辺の駐車場の出入り等が渋滞に影響している可能性が考えられる。

[今後の予定]  
 引き続き同様の調査を行います。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		<ul style="list-style-type: none"> <li>宇治の風情を損なわないよう、観光交通の対策として、駐車場の情報発信や現地での誘導等を実施している。</li> <li>旅行時間調査における目標値の設定については、天候や様々なイベント等の実施により交通量が変動するので難しいが、数年間調査を継続し統計を取ることで、一定観光交通対策の効果が確認できるのではないかと考えており、調査結果が出た段階で実施している対策の検証を行っていく。</li> </ul>

状況を示す写真や資料等

旅行時間の調査(ルート①～④にて実施:4ルート)



令和元年5月4日  
 旅行時間調査の状況

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
----	-------

空き町家の活用検討調査	実施済 実施中 未着手
-------------	-------------------

事業期間	平成27年度～
------	---------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	伝統的木造家屋を活用することは、賑わいと風情ある町並みの継承につながる。
-------------	--------------------------------------

定性的・定量的評価(自由記述)	定量的評価は可能な範囲で
-----------------	--------------

令和元年度は、平成28年度に実施した「中宇治地区に残る伝統的木造家屋の空き家調査」の再調査を行うとともに、調査結果について空き家対策担当部署との情報共有を行った。また、平成30年度末に策定した「宇治市空き家等対策計画」に基づき、空き家の利活用施策として実施している「空き家の再生・利活用コンペ」の募集を行った。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	----------	--------------------------

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		市内では空き町家を含め空き家が増加しつつあり、その中には適正に管理されず、地域の生活環境の悪化につながっているものも見受けられる。 そのような状況を踏まえ、30年度末に策定した宇治市空き家等対策計画に基づき、今後、空き家の所有者等が適正に管理できるよう各種の支援施策を実施する。 既に実施している景観形成助成金制度では、空き町家の利活用の促進へと繋げることを引き続き検討していく。
-----------------------------	--	--

状況を示す写真や資料等
-------------

宇治市  
『空き家再生・利活用コンペ』

# どうする空き家?

## それを募集します。

あなたの手で空き家を資源に  
最優秀に賞300万円補助

地域の交流施設や活動拠点、地域活性化につながる商業施設など、ジャンルは問いません。空き家の再生と利活用によって、周辺地域の魅力を高める宇治市らしさに溢れた先駆的な提案をお待ちしております。空き家空き店舗所有者とコンペ応募者のマッチングもします。

コンペの最優秀提案1件には、改修経費2分の1(上限300万円)を補助金として交付します。補助対象経費には一定の条件があります。

**募集期間: 令和2年1月15日(水)から6月15日(月)**

必ず5月15日(金)までに事前相談を受けて頂く必要があります。詳しくは裏面及びホームページ等で公開している応募要項をご覧ください。

「空き家再生・利活用コンペ」のチラシ

**コンペ開催趣旨**  
空き家を再生し、周辺地域の魅力を高める利活用の提案を募集します。  
地域の交流施設や活動拠点、地域活性化につながる商業施設等、利活用方法のジャンルは問いません。周辺地域の魅力を高める、宇治市らしさにあふれる先駆的な提案を募集します。

**補助金について**  
コンペで最優秀となった提案1件には、改修経費の2分の1(上限300万円)を、工事完了後交付します。ただし、補助金を受けられる経費には一定の条件があります。

**スケジュールについて**  
事業年度は令和元年度～2年度

時期	内容
令和2年 1/15	提案及び協力物件募集開始 相談期間 ↓ 応募期間 ↓
5/15	事前相談締め切り
6/15	応募受付締め切り
7月	審査会(プレゼンテーション)
7月中旬	補助対象者決定の通知 ※これ以降、改修工事に着手いただけます。
令和3年 1月末頃 2月頃～	工事期間 ↓ 事業完了 完成報告会及び現地確認等 報告書作成、提出及び補助金交付事務

**応募条件**  
■対象物件について  
対象物件は、以下の条件全てに合致するものとします。  
①宇治市の区域内に存する概ね一年以上空き家等であったもの  
②この補助金のほかに、国又は地方公共団体から、補助金を受けていない物件であること。補助金の交付の対象となる工事等に、現に着手している物件でないこと。  
③法令(条例等も含む)を遵守すること。  
④耐震性を有する建物でない場合は、耐震補強を行う等、十分に配慮すること。  
■応募資格について  
①補助を受けた物件を用途変更することなく10年間維持管理できる団体等  
②市域内において、地域の活性化に繋がる活動を行っている、又は今後行う予定の団体等  
③ホームページへの掲載等、市の広報において事例として紹介することについて了承できる団体等  
④宇治市税の滞納がない団体等  
⑤政治活動及び宗教活動を目的としない団体等  
⑥暴力団又はその傘下組織ではない団体等  
※想定する団体等の例  
自治会・町内会等の地域の自治組織やサークル等の法人格を有しない任意のグループ等  
特定非営利活動法人、一般社団法人、公益社団法人、公益財団法人、社会福祉法人、営利団体(民間企業)などの各種法人  
(これら以外の団体等も上記条件に合致すれば応募は可能。)

**コンペの提案物件の協力者も募集!!**  
コンペの提案物件を確保出来ない応募者に対して、物件の候補として情報提供をします。対象となる空き家等をお持ちの方の協力も募集しています

宇治市建設部住宅課 空き家対策室  
〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33 TEL. 0774-21-0418/E-mail akiyataisaku@city.uji.kyoto.jp

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
観光周遊道路の整備検討調査		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成28年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	来訪者が歴史に触れながら散策できる快適な道路空間を確保することにより、宇治川周辺の回遊性の向上につながるため、歴史的風致の維持向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、文化財や周辺の歴史的なまち並みと一体となった宇治にふさわしい景観形成を図るため、市道宇治228号線の無電柱化の詳細設計を実施するなかで、沿道の道路景観の改善について検討した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

【現在】(平成30年1月)



【整備後イメージ】



【位置図】



無電柱化に取り組むことで伝統的な沿道景観との調和や道路景観の改善を図る。

評価軸 -1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

文化財の修理(整備を含む)

実施済  
実施中  
未着手

計画に記載している内容

(1)国宝・重要文化財建造物  
宇治上神社本殿・拝殿(国宝)は、前回の屋根葺替から拝殿は35年、本殿は30年が経過して檜皮の傷みが顕著になっており、このため国庫補助事業による屋根葺替修理が計画されている。

(2)重要文化的景観  
重要構成要素の家屋の修理・修景は、国の補助金の充当を可能とする市の分担金条例に基づき、文化的景観保存活用事業として進めている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

(1)国宝・重要文化財建造物  
国宝宇治上神社の修理は平成26年度完了。令和元年度は、国宝平等院鳳凰堂保存修理、平等院庭園修理が行われた。

(2)重要文化的景観  
令和元年度は景観重要構成要素の届出建物修理修景事業(中村藤吉本店)への補助実施した。

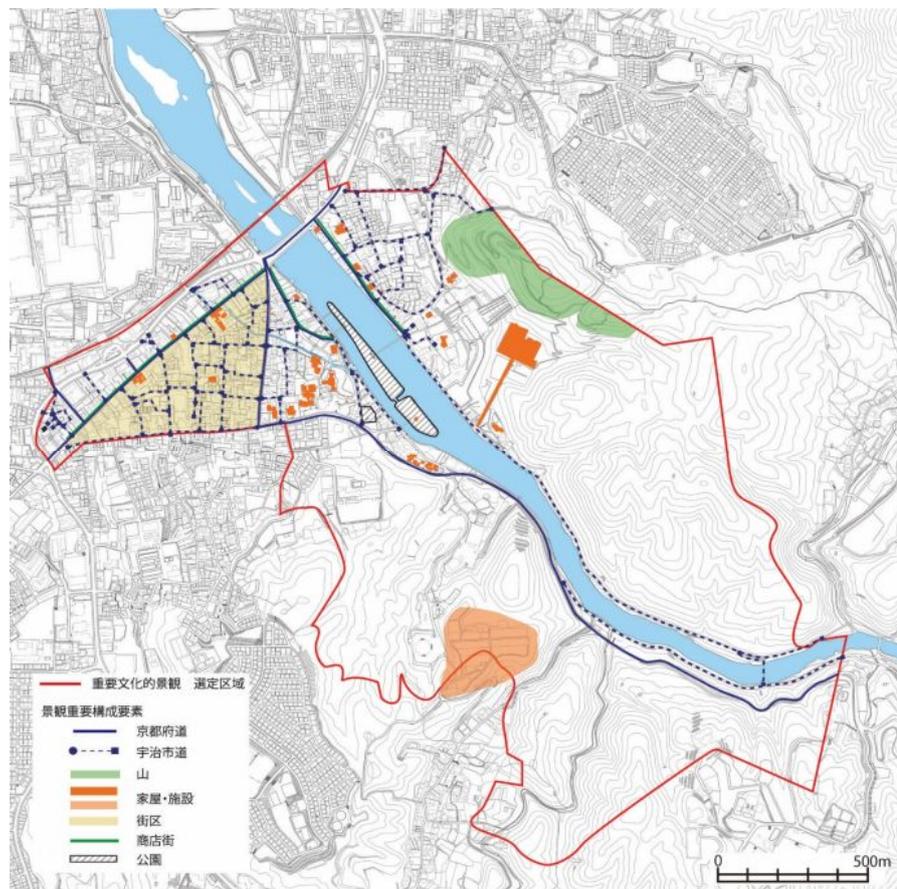
進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

重要文化的景観の補助制度が平成28年度に変更となり、補助金に市の負担が入ることとなったため、市の予算によって事業量が制限される。重要構成要素の家屋は、多くが個人所有であるため、事業計画から事業実施まで綿密にコントロールする必要がある。

状況を示す写真や資料等



宇治の文化的景観 修理箇所位置図

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財の防災	実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容 平成20年に発足した「宇治市文化財まもり隊」の活動は、文化財に対する保護意識高揚と地域の自主防災活動を促し、火災予防の徹底と災害が発生した場合の被害軽減を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

文化財まもり隊は、自主消防隊を持つ平等院と、5年前に指定された恵心院以外の指定建造物に対して結成されている。平成30年度の文化財防火デーに行われた文化財防火研究会は萬福寺で行われた。防火訓練は、天候不調で中止した。また、平成27年の宇治上神社の汚損事件においては、最初に市の文化財担当部局に連絡があり、市から警察・京都府に連絡を行ったように、文化財所有者と密に連絡を取る体制を作っている。

進捗状況 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	
-----------------------------	--

状況を示す写真や資料等



防火懇談会の様子 (令和2年1月28日)

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発		実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 文化財に親しんでもらうことを目的とした市指定史跡庵寺山古墳の公開や小中学生を対象にした文化財見学会、発掘調査報告会、文化的景観フォーラム等を行っており、これらの活動や行事を通じて文化財保護の普及啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

・春の庵寺山古墳の一般公開	令和元年 5月25日(土)	10:00~15:00	約80人
・秋の庵寺山古墳の一般公開	令和元年10月25日(土)	10:00~15:00	約50人
・第28回小中学生の文化財見学会	令和元年12月7日(土)	9:30~12:00	50人

今回の見学会は、重要文化財松殿山荘の見学をした。文化財見学会終了後の感想文コンクールでは、5本の作文が寄せられた。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	庵寺山古墳の見学会では、古墳の見学だけでなく勾玉作りも行っており、小学生などに人気があるが、別の体験メニューも増やす必要がある。

状況を示す写真や資料等



小中学生の文化財見学会 松殿山荘 (令和元年12月7日)

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の取扱い		実施済 実施中 未着手	

計画に記載している内容 重点区域内には「宇治市街遺跡」、「平等院旧境内遺跡」、「白川金色院跡」、「宇治川太閤堤跡」等の埋蔵文化財包蔵地があり、整備や活用に反映させることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

史跡公園として整備を進めている史跡宇治川太閤堤跡では遺構復元の一環として、再現遺構の着色工事を実施しました。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



再現遺構の着色工事の様子 (令和元年9月)

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
文化財の保存・活用に関わる住民・NPO等の各種団体の状況及び今後の体制整備		実施済 実施中 未着手

計画に記載している内容  
お茶どころ宇治の個性を磨くため、宇治茶園の覆下栽培を維持・拡大するための支援事業、宇治茶製法技術保存会への助成事業、「宇治茶まつり」などの実施団体への助成事業など、宇治茶の品質向上・普及に努める農家や団体等への各種支援を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

高品質な宇治茶の生産を促進する高品質茶推進事業として、宇治茶の伝統的茶製法である「ほんず」による生産を支援する「伝統技術継承対策」支援事業を行うとともに、茶摘み時期に必要な「お茶摘みさん」の斡旋を支援する「手摘み茶推進対策」支援事業を行った。

また、10月6日に宇治川川畔一帯で開催された「宇治茶まつり」、「市民素人茶香服大会」等への支援を実施したことにより、多数の市民や来訪者に宇治茶への親しみや理解を深めることに寄与した。

【定量的評価】

- 「伝統技術継承対策」支援事業の実施件数 : 15件(282.5a)
- 「手摘み茶推進対策」の実施件数 : 31件
- 「宇治茶まつり」の参加者数 : 約41,500人
- 「市民素人茶香服大会」の参加者数 : 約60人

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



伝統技術継承対策支援事業により支援が行われた「ほんず」と呼ばれる覆下茶園の栽培状況

評価対象年度 令和元年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
馳せ馬 雨吹き飛ばす 災厄封じ宇治川へ	令和元年6月9日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治市の維持向上すべき歴史的風致には「遊覧と参詣」「茶どころ宇治」「宇治に伝わる祭礼」の3つを挙げている。「宇治に伝わる祭礼」の歴史的風致として、市の無形民俗文化財第1号(2012年指定)であり伝統的な行事である「大幣神事」が報道された。古式の装束を身に着け中世以来の祭具を持った大幣の行列が巡行する様子は、宇治で数百年にわたって培われ積み重なってきた歴史の厚みがまちなかに放散されるような風情と賑わいを伝えている。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



雨の中で一ノ坂を目指して駆け上がる馳せ馬



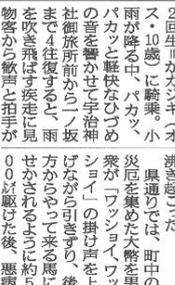
県神社大幣殿を目指して本町通りを練り歩く一行



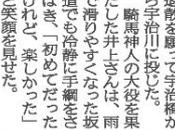
古式ゆかしい行列には子供たちも伝統装束で参加



町中の災厄を集めた大幣を全力で引きずり、宇治橋を目指す男衆



2回生がカジキ(オシロイ)に騎乗。小雨が降る中、バカッ、バカッと賑やかなひびく音を響かせて宇治神社御旅所前から一ノ坂まで4往復すると、雨を吹き飛ばす疾走に見せられるように約500人が駆け出し、悪病と災厄を寄せた。



退散を願って宇治橋から宇治川に投じた。騎馬神人の大役を果たした井上さんは、雨で滑りやすくなった坂道でも冷静に手綱をさげ、一初めてだったけれど、楽しかった」と笑顔を見せた。

県神社(田嶋利(室司)の本幣神事が8日、中宇治地域を中心に行われた。古きゆかしい伝統装束に身を包んだ一行が市街地を練り歩いたり、勇壮な馳せ馬が観衆を湧かせたりし、宇治のまちの初夏を彩った。

## 馳せ馬 雨吹き飛ばす

### 県神社 災厄封じ宇治川へ

大幣神事

中世から伝わる「大幣神事」は、旧久世郡宇治郡のまちを巡る(守り)商売繁盛や五穀豊穡を願う神事として受け継がれてきた市の無形民俗文化財。騎馬神人や神(かみ)の井上心さん(20)も、京都大学馬術部

しも姿のお供ら一行約80人は、3つの黄色い笠や御幣で飾られた大幣(とも)に県神社大幣殿前を出発し、県通り宇治橋通り、本町通りを練り歩いた。供奉として菟道小学校の児童たちも伝統装束を身にまとい、均鏝や祭具を手手に列をなした。見せ場となる馳せ馬では、京都大学馬術部

評価対象年度 令和元年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
文化財の現場から	令和2年2月5日	京都新聞
歴史散歩 地域勢力の変化語る巨大墳 京都・宇治古墳群	令和2年2月28日	朝日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

宇治橋東方の丘陵上にある古墳時代中期の古墳である二子山古墳は、保存に向けた発掘調査を行い文化財の申請に向けた準備を進め、平成30年10月15日「宇治古墳群」を構成する古墳のひとつとして史跡に指定された。文化財保護の普及啓発につながる。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

京都新聞2020年(令和2年)2月5日



朝日新聞2020年(令和2年)2月28日



報道等タイトル	年月日	掲載紙等
所有者の思いに応え修繕 日本最古の旧茶工場	令和2年2月11日	洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

景観法による景観重要建造物として指定し、保存・活用することで、市民が後世へと引き継ぐ意識の向上につながった。

進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

## 所有者の思いに応え修繕

宇治市  
まち審 日本最古の旧茶工場

宇治市まちづくり審議会(会長＝松岡拓公雄・亜細亜大教授)が10日、市役所議会議事堂で開かれ、昨年3月に景観法に基づく市内第1号の景観重要建造物として指定された寺川俊男氏所有の土蔵(宇治市番40番地)の修繕概要について、市が報告した。

土蔵は地上2階建て(高さ6.3m)で、江戸時代中期に描かれた「宇治郷絵図」には記されており、少なくとも1751年以前に建てられた日本最古の茶工場。現在は倉庫として活用されている。修繕では「切妻」の屋根の葺き替えを行い、外壁は白漆喰の塗り直しと焼杉板の貼り替えを実施。総額は約1000万円、補助金として約300万円を交付した。

所有者の息子にあたる寺川勝之氏は「土蔵の隣接地に伝統のワラを使った本茶園を整備する。5年ぐらい経てば(旧茶工場と本茶園で)日本唯一、当時の姿を残す景色になる」と期待を膨らませた。当初、壊す方向での相談を受けた近所の寺川徹氏は、抹茶カフェなど観光施設としての転用を促したが、父子が茶園を続ける固い決意を示したことを紹介。特に勝之氏は「僕が辞めたら、中宇治の三角地での茶園が終わる」と発言し、土蔵を残すことに舵を切ったという。

さらに市歴史まちづくり推進課についても瓦を少しでも残すため、1枚1枚、丁寧に選別してくれたことを徹氏は紹介。所有者の「生業を残したい」との強い思いに添えてくれたことを説明した。

委員からは「歴史的な建物を残すことは難しい。残ってよかった」、「残すことは所有者に多大な負担。みんなで守る仕組みを」などの声があった。



修繕を終えた寺川氏所有の土蔵

評価軸 -4  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	令和元年度
歴史公園ミュージアム 茶、宇治の歴史知り街中へ	令和2年3月10日		洛タイ新報

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

「(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園」内に整備されるミュージアムの展示概要が紹介され、市民の皆様への期待を膨らませ、来年6月のオープンが待ち遠しいことである。

進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし		

状況を示す写真や資料等



**宇治市 歴史公園内ミュージアム  
茶、宇治の歴史知り街中へ  
巨大模型や体験コーナーなど**

宇治市は9日、来年6月オープンを目指す「(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園」内に整備されるミュージアムの展示概要について、市議会建設水道常任委員会(前野道夫委員長)に報告した。来賓者を街中への周遊観光に誘うことを主眼に内容を整理、ダイナミックな映像と音で、宇治茶と宇治のまちの魅力を紹介する。

歴史公園は国史跡・開港場の復元文化財、修景茶園などを整備し、交流する新たな観光拠点。流ゾーンにはミュージアムと宇治茶の魅力と宇治の歴史・文化へ誘う窓口として、大きく分けて2つのゾーン構成する。「史跡ゾーン」には大規模な模型や体験コーナーなど、

宇治市は9日、来年6月オープンを目指す「(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園」内に整備されるミュージアムの展示概要について、市議会建設水道常任委員会(前野道夫委員長)に報告した。来賓者を街中への周遊観光に誘うことを主眼に内容を整理、ダイナミックな映像と音で、宇治茶と宇治のまちの魅力を紹介する。

歴史公園は国史跡・開港場の復元文化財、修景茶園などを整備し、交流する新たな観光拠点。流ゾーンにはミュージアムと宇治茶の魅力と宇治の歴史・文化へ誘う窓口として、大きく分けて2つのゾーン構成する。「史跡ゾーン」には大規模な模型や体験コーナーなど、

展示は「宇治茶を中心とした宇治の歴史文化を紹介」する内容に展開した。ゾーンについて、従来は「宇治茶と宇治の歴史」をテーマとして、現在茶づくりに関しても、機械もろもろを紹介し、伝統的な茶葉製法(種下園)を再現。高貴な宇治茶の産地を知ってもらう。お茶ゾーンは、シンボルとして「茶」の木の形で展示が始まる。宇治茶の誕生からフラ

ンド形成まで歴史を紹介し、3次元コンピュータグラフィックス(3D CG)を用い、茶葉を運ぶ箱の模型、製茶道具などを展示することにも、茶葉に触れたり、匂い体験のコーナーも設置する。

また、現在の茶づくりに関しても、機械もろもろを紹介し、伝統的な茶葉製法(種下園)を再現。高貴な宇治茶の産地を知ってもらう。お茶ゾーンは、シンボルとして「茶」の木の形で展示が始まる。宇治茶の誕生からフラ

「史跡ゾーン」には大規模な模型や体験コーナーなど、

展示は「宇治茶を中心とした宇治の歴史文化を紹介」する内容に展開した。ゾーンについて、従来は「宇治茶と宇治の歴史」をテーマとして、現在茶づくりに関しても、機械もろもろを紹介し、伝統的な茶葉製法(種下園)を再現。高貴な宇治茶の産地を知ってもらう。お茶ゾーンは、シンボルとして「茶」の木の形で展示が始まる。宇治茶の誕生からフラ

族に受け継がれたが、宇治編はたまたび合戦の舞台になった歴史も。本陣の必要性は兵隊、幕僚、勇将、が映像でグラフィックで教えられる。

このほか、気になった情報系来賓者のスマートフォンに保存が良、街歩きの際中に確認することが可能。宇治ならではの写真映えスポットを巡るスタンプラリーも体験できる。

いずれも最初ミュージアムを訪れてもいい、実際に町に出て実物を見てもらうことを主眼に構成。当初案にあったVR(仮想現実)、AR(拡張現実)の演出はなかったが、年間来園者は引き続き約1万5000人を見込んでおり、来訪者も周遊観光を促す。【宇治ミュージアムの全体イメージ】(宇治市提供)

宇治市歴史的風致維持向上計画 事業一覧

(参考資料)

	事業名	事業期間		事業概要・箇所等	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
1	宇治上神社拝殿ほか屋根葺替修理事業	H24	H26	宇治上神社拝殿及び本殿修理	(拝殿)屋根修理	(拝殿)屋根修理 (本殿)屋根修理	(本殿)屋根修理 扉給修理					
2	史跡整備事業	H25	R2	遺構再現		方法確認	パネル製作 (133㎡)	パネル製作 (86.5㎡)	パネル製作・設置 (9.6㎡)			植栽、舗装、ベンチ等の設置及び整備
				公園施設				修景茶園造成・設計	茶樹の植樹	展望デッキ設置	園路整備 給排水設備設置	園路整備 排水設備設置
				その他		発掘調査	発掘調査 現地説明会	フォーラム開催		発掘調査 フォーラム開催	発掘調査	
3	情報発信・観光交流施設整備事業	H27	R2	(仮)お茶と宇治のまち歴史公園 整備・運営				調整・検討	調整・検討	調整・検討	契約締結 設計業務	設計業務完了 建設業務
4	重要文化的景観保存事業	H24	~	重要文化的景観整備計画	策定							
				建物修理・修景(助成件数)		1件	1件	3件	1件	3件	1件	1件
				災害復旧分(助成件数)		9件					5件	
5	歩道整備事業	H21	R3	宇治五ヶ庄線(L=100m)	調整	調整	調整	用地取得、整備	整備	整備完了		
				菟道志津川線				設計	設計	調整	用地取得	用地取得
6	歩行空間整備事業	H24	R2	宇治白川線(L=242m)	整備	整備	整備完了					
				宇治12号線				JR協議	調整	調整	調整	調整
				宇治233号線(L=330m)					設計	整備	整備完了	
				菟道94号線								調整
7	無電柱化事業	~	R2	宇治228号線							設計	設計
8	観光施設周辺浸水対策事業	H27	R2	塔ノ島周辺地域				設計	整備	整備	整備完了	
				史跡宇治川太閤堤跡周辺地域				設計・整備	設計		設計・整備	整備
9	観光サイン等整備事業	H29	R2	観光案内サイン						18基	15基	6基
				観光トイレの改修								
10	建物修景助成事業	H22	~	建物修景(助成件数)	1件	6件	3件	3件	4件	3件	2件	1件
11	屋外広告物助成事業	H22	~	屋外広告物(助成件数)	0件	0件	2件	0件	3件	0件	1件	0件
12	宇治茶園支援事業	H23	~	伝統技術継承対策事業(実施件数)	18件	18件	19件	18件	18件	19件	17件	15件
				手摘み茶推進対策事業(実施件数)	39件	33件	34件	32件	32件	32件	32件	31件
13	宇治茶品質向上事業	H23	~	茶品評会受賞実績(受賞数/出品数)	26受賞/70点	33受賞/82点	39受賞/106点	53受賞/120点	56受賞/130点	54受賞/112点	54受賞/103点	55受賞/121点
14	宇治茶普及啓発事業	H23	~	市民茶摘みのつどい(参加者数)	350人	400人	400人	400人	400人	500人	雨天中止	200人
				宇治茶まつり(参加者数)	18,000人	18,000人	18,000人	35,000人	18,000人	10,000人	41,000人	41,500人
				市民素人茶香服大会(参加者数)	70人	70人	70人	100人	80人	80人	60人	60人
15	市営茶室対鳳庵活用事業	H23	~	入席者数	16,032人	14,259人	22,335人	21,632人	21,329人	24,800人	23,354人	18,782人
				うち外国人入席者数	4,889人	4,259人	6,059人	7,198人	8,442人	11,803人	11,858人	10,917人

宇治市歴史的風致維持向上計画 事業一覧

(参考資料)

事業名	事業期間	事業概要・箇所等	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	令和元年度
16 宇治川鶴飼助成事業	H23 ~	乗船者数	6,300人	6,700人	6,970人	7,060人	6,920人	6,390人	4,325人	2,635人
		一日平均乗船者数	76人	80人	91人	114人	88人	85人	101人	68人
17 宇治十帖スタンプラリー開催	H23 ~	踏破者数	17,638人	16,598人	17,176人	17,744人	17,503人	12,674人	13,146人	12,008人
		開催日数	5日	5日	5日	5日	5日	5日 (うち1日中止)	4日	4日
18 京都・宇治灯り絵巻の開催	H23 ~	灯り絵巻の開催	実施	未実施	行燈掲出・点灯のみ	行燈掲出・点灯のみ	行燈掲出・点灯のみ	行燈掲出・点灯のみ	行燈掲出・点灯のみ	延期(新型コロナウイルス感染症対策のため)
19 文化財見学会	H23 ~	庵寺山古墳一般公開(年2回 春・秋)	約80人	約80人	約80人	約80人	約80人	約80人	約80人	約80人
		小中学生の文化財見学会(年1回)	65人	37人	30人	20人	20人	40人	59人	50人
		現地説明会	松殿跡 太閤堤跡公開	浄妙寺跡 太閤堤跡	太閤堤跡	乙方遺跡	太閤堤跡	太閤堤跡	太閤堤跡	
20 歴史・文化啓発事業	H23 ~	文化的景観フォーラム	160人	80人	100人	80人	80人	30人		中止(新型コロナウイルス感染症対策のため)
		太閤堤跡保存整備フォーラム			180人	150人	50人	50人		
		出前講座			30人	180人	180人	180人	99人	116人
		二子山古墳フォーラム							150人	
		「宇治学」副読本の配付					小学校3年生 小学校6年生	小学校4年生 中学校1年生	小学校5年生 中学校2年生 中学校3年生	改訂版 小学校6年生
21 史跡宇治川太閤堤跡調査	~	H25 太閤堤跡調査	発掘調査	史跡整備事業で実施						
22 文化的景観整備計画策定調査	~	R3 「宇治の文化的景観」整備計画	調査	調査	調査	策定	区域拡大検討	区域拡大検討	区域拡大検討	重要構成要素の追加
23 観光振興計画策定事業	H24	H24 観光振興計画	策定							
24 観光交通対策検討調査	H25	~ 観光交通対策検討		調査	調査	調査	調査	調査	調査	調査
25 空き町家の活用検討調査	H27	~ 空き町家の活用検討				調査 意見交換	調査 先進地視察	調査	組織体制の確立 空き家等対策計画	空き家再生・利活用コンペ募集
26 観光サイン等整備計画策定事業	H27	H27 観光サイン等整備計画策定				策定				
27 観光周遊道路の整備検討調査	H28	~ 観光周遊道路の整備検討					勉強会 (観光アドバイザー)	検討 (無電柱化)	事業計画採択 (無電柱化・国費)	詳細設計(宇治228号線無電柱化)

宇治市歴史的風致維持向上計画  
令和元年度進行管理・評価シートに関する意見 記入様式

氏 名	
【意見記入欄】	

## 昨年度の協議会における主なコメント

### 【計画全般に関すること】

- ・事業計画（10年間）のスパンが短く、大きな将来的展望を基に計画が立てられていない。
- ・計画を毎年度達成していくというのも大切なことだが、20～30年後を見据えた景観づくりをして欲しい。

### 【歴史公園整備に関すること】

- ・当初の計画では太閤堤が中心の計画であったが、宇治の観光拠点という形に変わり、良いと思えるようになってきた。
- ・計画が出てきた時点で、協議会のなかで十分に議論ができていないと思っている。仕様書を作成する段階で、意見を言う機会が無かった。
- ・今後、協議会と宇治市で打合せや情報交換を行う際に、部会のような形で対応したい。

### 【文化財に関すること】

- ・この数年で国・府の名勝指定が数件あり、今後、宇治市の名勝指定も増えていくのではないかと思う。
- ・宇治山については、どのように景観を残していくのか課題もあるが、この数年で文化財の調査がかなり進んでいる。
- ・日本の文化財保存は、多数指定の環境保存主義に変えていかなければいけない。
- ・エコミュージアムを参考にして、活用型に変えていってほしい。

### 【景観に関すること】

- ・景観法による景観重要建造物として指定し、保存・活用することは必要だと思う。
- ・景観形成助成では、1件あたりの補助額を増額するより、件数を増やして裾野を広げていく方が良いと思う。
- ・駅から観光施設までのルートを、自然に目に入ってくる景観でうまく誘導していくことが大切である。建造物等を単体で指定することも良いが、集合体で指定を行うことにより、景観ルートとしての役割が期待できる。
- ・文化、経済、景観など総合的に考えていく必要がある。

### 【宇治茶に関すること】

- ・日本の茶文化としての宇治茶は、特別なものであり、文化的な意味を持つものである。
- ・農産物としての宇治茶だけではなく、日本の茶文化としての宇治茶について考える必要がある。

### 【空き町家に関すること】

- ・空き家対策については、横方向の連携を組んで空き家対策等に踏み込んだことは、大きな第一歩であると思う。ただし、具体的にどのような対策を実施していくのが課題である。
- ・幅広い観点でどう活用するのか検討してほしい。
- ・建築家やコンサルを含めた実働的な作業人員が必要だと思う。

### 【その他】

- ・ひとつの部署で文化財と都市計画に関する行政を行っており、良いことだと思う。他市ではあまり見られない。